

令和5年度

試験名:編入試験外国語(英語)

【社会国際学群社会学類】

区 分	標準的な解答例又は出題意図
経済学主専攻	<p>2022年度のノーベル経済学賞が与えられた研究内容についての問題文を読んでもらい、社会科学的な議論を含む本文の内容をきちんと読み取れる語彙力、英文読解力、および日本語による表現能力を問うた。</p> <p>問題1ここでの単語が指し示す内容を本文を踏まえて具体的に説明できるかどうかを確認するための出題である。</p> <p>問題2問題文の内容を踏まえて、下線部をきちんと日本語訳できるかどうかを確認するための出題である。</p> <p>問題3問題文の内容を踏まえて、下線部をきちんと日本語訳できるかどうかを確認するための出題である。</p> <p>問題4問題文の内容を踏まえて、下線部をきちんと日本語訳できるかどうかを確認するための出題である。</p> <p>問題5下線部が指示する歴史的出来事を、本文中の言葉で指摘してもらうことで問題文の内容を読み取れているかどうかを確認するための出題である。</p>

令和5年度

試験名：編入試験

【 社会・国際学群 社会学類 】

区 分	標準的な解答例又は出題意図
経済学 問題 A	<p>出題意図を示す。</p> <p>問1 初級レベルのミクロ経済学理論の理解を問う。特に完全競争市場における家計の理論、企業の理論の理解度を問う。</p> <p>(1) 図を用いて、価格変化が需要量に与える効果を説明できるかを問う。さらに上級財という基本用語を正確に理解しているかも問う。</p> <p>(2) 平均費用と総費用の関係を理解しているかを問う。さらに、利潤最大化の必要条件である限界費用＝価格を理解しているかも問う。</p> <p>問2 初級レベルのミクロ経済学理論の理解を問う。特に2消費者、2財から成る標準的な一般均衡モデル(エッジワースのボックスダイアグラム)を理解し、さらにその知識を2期間の異時点間モデルに応用する力があるかを問う。</p> <p>(1) 2期間の異時点間消費モデルの予算制約式を理解しているかを問う。</p> <p>(2) ワルラス法則をモデルに沿った数式で表現する力を問う。</p> <p>(3) エッジワースのボックスダイアグラムで表すことができる基本的なモデルで、競争均衡を求めることができるかを問う。その均衡価格を利子率と解釈し、今期消費量と初期保有量の差を貯蓄(借入)と解釈する応用力があるかを問う。</p> <p>(4) 効率性概念の理解と、限界代替率と価格比が等しくなっていることを示す計算力(もしくは図で示す力)を問う。</p> <p>問3 初級レベルのマクロ経済学理論の理解を問う。特に総需要・総供給モデルの基礎的な理解と、そのモデルを用いて現実のマクロ経済現象や政策を説明する応用力を問う。</p> <p>(1) スタグフレーションが発生する仕組みを、このモデルによって説明する応用力を問う。</p> <p>(2) 総需要管理政策が、このモデルにおいてどのように表現されるかについての基礎的な知識を問う。</p>

令和5年度

試験名:編入試験経済学

【社会国際学群社会学類】

区 分	標準的な解答例又は出題意図
経済学主専攻	<p>問題 B 問1 1, 3 相関関係についての理解を問うための出題である。</p> <p>問題 B 問2 因果関係についての批判的な思考を、実際のデータを用いた例を通して確認するための出題である。</p> <p>問題 B 問3 現実の社会問題について関心を持ち、経済学的な視点から議論を構築する能力を確認するための出題である。</p>